

傾きと切片からグラフをかいてみよう

まずは1次関数の式から

傾きと**切片**を確実に読み取る。

復習

$$y = ax + b$$

傾き

切片

まずは切片に注目！

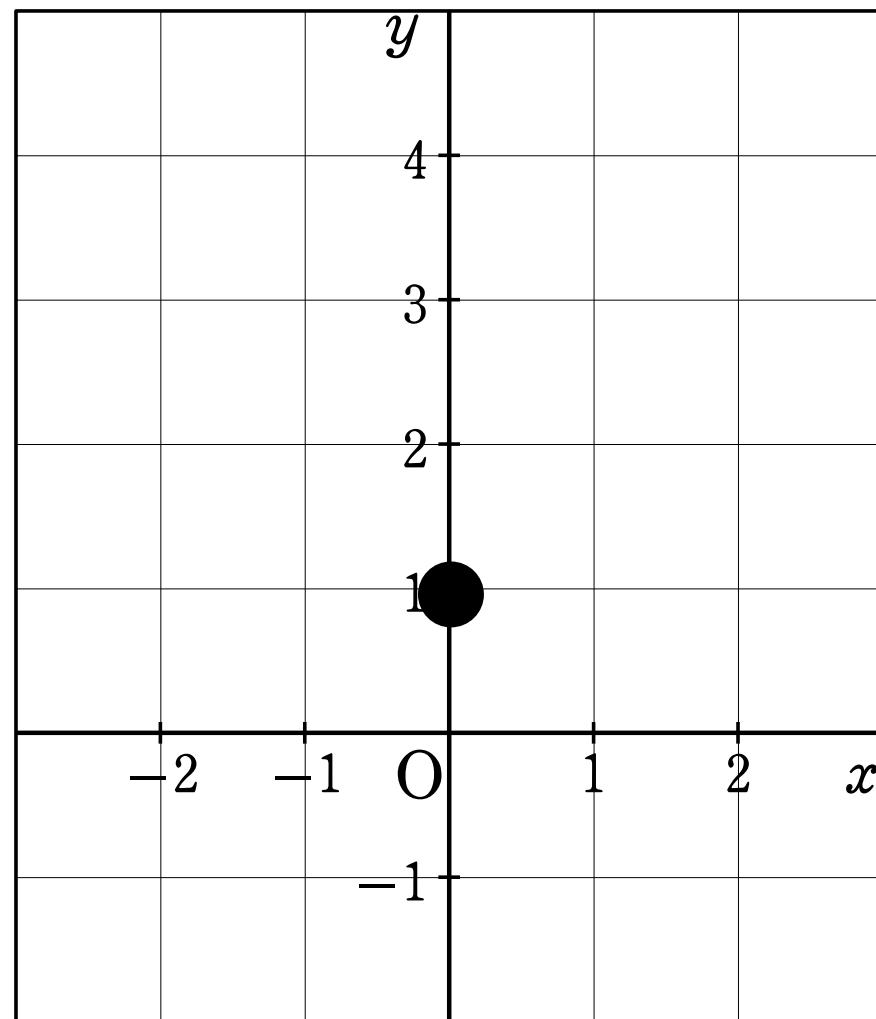
たとえば、1次関数

$$y = 2x + 1 \text{ の}$$

切片は1なので、

y 軸上の点

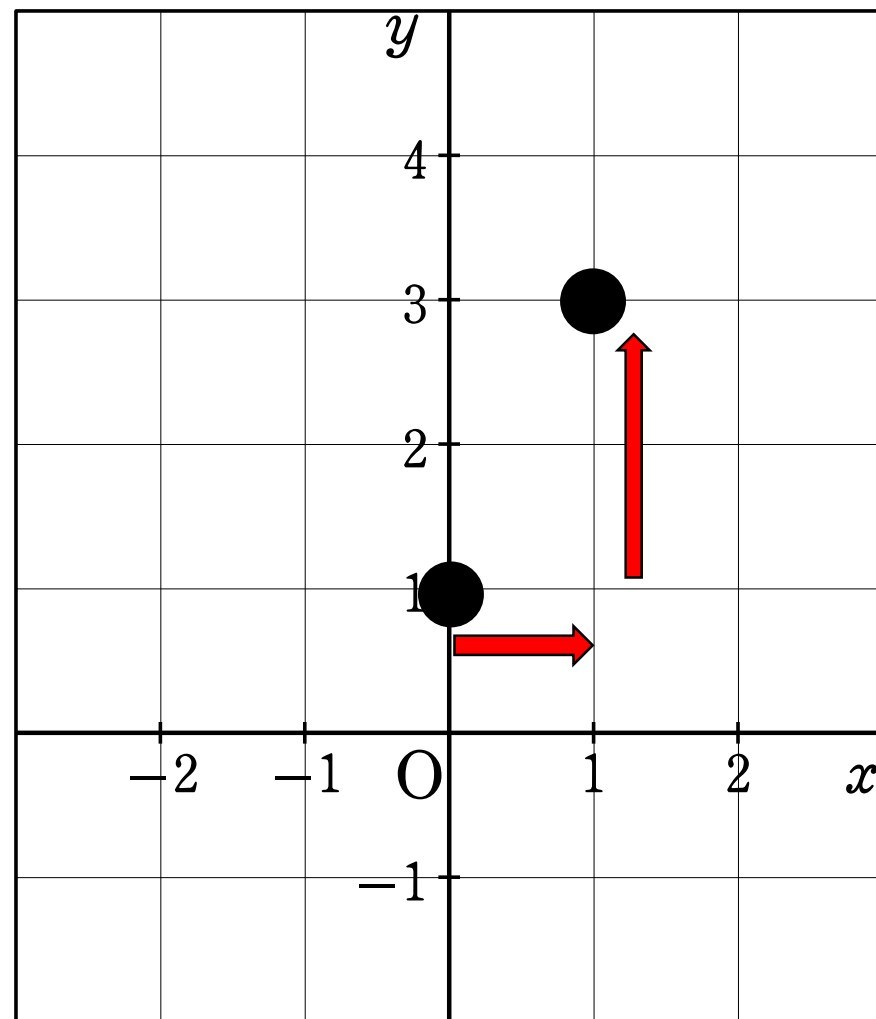
$(0, 1)$ を通ることになる。



次は傾き！

$y = 2x + 1$ の
傾きは2なので、
右へ1進むと
上へ2進む。

つまり $(1, 3)$ を通ることになる。



このことから！

2点 $(0, 1)$, $(1, 3)$ を
通る直線が1次関数

$y = 2x + 1$ のグラフである。

1次関数のグラフのポイント！

- ①まずは**切片**をとる！
- ②**傾き**を読み取って
切片を基準にもう1点をとる！
- ③**グラフは点の集まり**なので
常に次の点を意識して点を**結ぶ**！

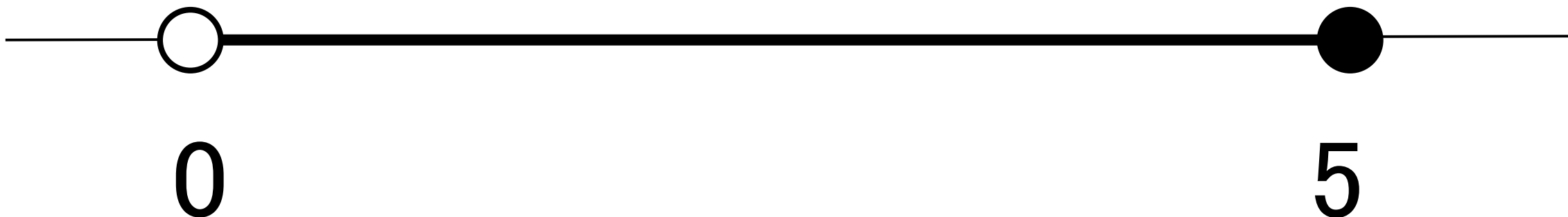
変数のとりうる値の範囲のことを
その変数の**変域**という。

変域を数直線上に表すとき
端の数を

ふくむ場合は ●

ふくまない場合は ○

たとえば $0 < x \leq 5$ の場合



$y = 2x + 1$ の

x の変域が $0 < x < 2$ のとき

y の変域を求めなさい。

どう考える！？

1次関数の変域の問題は
変域の端と端を
式に代入して求めよ！！

今回の場合なら…

x の変域 $0 < x < 2$ の

0 のとき、つまり $x = 0$ と

2 のとき、つまり $x = 2$ を

$y = 2x + 1$ にそれぞれ代入！

$y = 2x + 1$ において

$x = 0$ のとき

$$y = 2 \times 0 + 1$$

$$y = 1$$

$x = 2$ のとき

$$y = 2 \times 2 + 1$$

$$y = 5$$

となるので...

$y = 1$ と $y = 5$ の
大小関係に気を付けながら……

$$1 < y < 5$$

これが今回の y の変域！